1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
3. 業務の範囲	(1)維持管理に関すること。 (2)運営業務に関すること。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 笠原中央公民館:平均値比(143%)=利用率34.0(%)÷23.7%(上記(1)適用)	105%以上 5点	年次報告書P294、295、296(利用率・利用人数) ※平均値比●%=(H28年度実績)÷(過去5年間実績平均値)) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:27.0%(平均値比106% =27.0%÷25.4%) 会議室1-1:35.1%(平均値比107% =35.1%÷32.8%) 会議室1-2:31.9%(平均値比124% =31.9%÷25.8%) 会議室2:25.0%(平均値比109% =25.0%÷23.0%) 会議室3:27.1%(平均値比101% =27.1%÷26.8%) 料理教室:12.7%(平均値比113% =12.7%÷11.3%) 和室1:53.7%(平均値比270% =53.7%÷19.9%) 和室2:50.3%(平均値比356% =50.3%÷14.1%) 茶室1:11.2%(平均値比126% =11.2%÷8.9%) 茶室2:9.1%(平均値比140% =9.1%÷6.5%) ホール:40.1%(平均値比138% =40.1%÷29.0%)	5点
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 笠原中央公民館:平均値比(130%)=利用人数(延べ70,244人)÷53,871人(上記(1)適用)	105%以上 5点	年次報告書P238、239、240(利用率・利用人数) ※平均値比●%=(H28年度実績)÷(過去5年間実績平均値)) 【笠原中央公民館】 視聴覚室:6,033人(平均値比96% =6,033人÷6,267人) 会議室1-1:8,375人(平均値比111% =8,375人÷7,539人) 会議室1-2:7,617人(平均値比129% =7,617人÷5,926人) 会議室2:3,494人(平均値比92% =3,494人÷3,792人) 会議室3:2,675人(平均値比82% =2,675人÷3,280人) 料理教室:1,571人(平均値87% =1,571人÷1,807人) 和室1:5,143人(平均値比153% =5,143人÷3,362人) 和室2:4,473人(平均値比153% =4,473人÷2,917人) 茶室1:720人(平均値比68% =720人÷1,058人) 茶室2:424人(平均値比48% =424人÷931人) ホール:23,918人(平均値149% =23,918人÷16,040人) 陶芸工房:767人(平均値83% =767人÷924人)	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	※年次報告書P298~316 <生涯学習講座の開催>春講座 13回 252人 夏講座 28回 375人 秋講座 27回 422人 冬講座 30回 359人 <文化祭>アザレア文化祭&ふれあい福祉まつり ステージの部 450人 展示の部 1日体験ワークショップ「ボールペン画」 <高齢者対象講座>ことぶき学級 ペン習字 20回 延べ120人 歌のひろば 20回 延べ360人 かさはら悠遊塾 21回 延べ 479人 <かさはら探検隊> 全13回 延べ290人 <かさはらこども和太鼓>かさはら和太鼓クラブISAMI 44回 延べ 880人 <かさはらいこまい祭> 3,000人 <スポレクかさはら2016>子どもから大人まで、誰でもが楽しめる「運動会」 400人	仕様書以上 14点	・ニーズに応じた、数多くの生涯学習事業の実施がなされている。 ・文化祭を笠原地域福祉協議会との共催で実施することができ、より地域の祭典となった。 ・悠遊塾は、開講2年目にして、自立できている事業となっている。(地域の方が塾長となって活躍) ・「かさはら探検隊」事業は、地域の子どもの感性を育む事業となっている。また、事業の中で、子どもたちに貢献活動(熊本地震災害義援金として寄付)を経験させることができた。 ・かさはらいこまい祭は、中学生がプロデューサーとして関わり、責任をもって役割を果たすことができた。 ・地域の事業を献身的に支援することができた。 ・長年行ってきた事業を見直すことにより、今にあった事業となっている。	14点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	※年次報告書P.298~316参照(事業報告書) ・鑑賞ではなく舞台芸術に誰でも参加できる音楽会「我らのカルメン」 540人 →参加した市民の特技で実現した講座 大工さんが教える工具の使い方など ・100人のプレミアムなセカイ 5回 延べ 507人 ・子どもノナカ研究所 お金編 大人になってから困らないお金のキホン 37人 ・かさはらおでかけコンサート(ショッピングセンター) 142人 ・和室開放事業 ・2階ロビー開放事業	期待以上 14点	・市民を巻き込んだ大掛かりな芸術体験事業を実施することができた。 ・参加者が施設に愛着を持って、自分の特技を別の事業の講師として活躍いただける流れが素晴らしい。 ・普段公民館に来ない方の音楽を楽しむ機会を提供することができた。 ・2階ロビーのデッドスペースを改修して、開放を行ったことにより、多世代の憩いの場となった。	14点			

2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・年次報告書P.318(維持管理業務) ※環境衛生業務参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②保守・点検		・年次報告書P.318(維持管理業務) ※建築設備管理参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		③保安・警備		・年次報告書P.319(維持管理業務) ※防災・防犯管理参照	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④小規模修繕		・年次報告書P.319、320、321(有償修理の内訳) ※笠原中央公民館 39件 総額 2,826,772円)図書館笠原分館含む	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・開館日の毎朝、危険箇所及び安全確認について、職員の見回りにより異常の有無を確認。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・市に準拠した方法で管理。(ファイリングシステム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		②環境への配慮			○節電・太陽光発電収入を活かした取り組み ・1階ロビーをLED蛍光灯に交換 ・図書館前にLED照明を増設 ・必要に応じて照明のON、OFFを実施 ○自然環境・エコへの活動 ・1階女子トイレを自動水栓に交換。 ・防草シートの張り替えによる定期的なメンテナンスの実施。 ・植栽への水やりは雨水タンクの水を活用。 ・ごみは分別し、再利用できるものは資源化。 ・可能な限り裏紙や古封筒を利用。 ・事務所内にネットワークを構築し、ペーパーレス化を推進。 ・チラシ・ポスターの掲示は、資源を効率的に活用。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
		③バリアフリー			・多目的トイレの手洗い場の蛇口を自動水栓に取り換え。 ・視覚障がい者の方の不便な部分のサポート。 ・点字ブロックが機能するよう配慮(点字ブロック上に物を置かない。敷地外点字ブロックの優先的な除雪) ・モザイクタイルミュージアム利用に当たり、施設に近いスペースに誘導し駐車できるよう負担の軽減に努めた。 ・ホール事業実施の際に、車イスや高齢の足の不自由な方へ誘導係を配置。開場までの待ち時間にイスを用意し、負担を軽減。 ・車イスで来館されるお客様の出入りに支障がないように配慮。出入りの際の扉の開閉補助に努めた。 ・事務所側通用口の段差解消のための鉄板に、滑り止めの人工芝を敷設。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
		④備品管理			・笠原町時代から続く備品台帳を調査・整理。 ・料理教室の黒板をホワイトボードへ変更。 ・地区遠隔端末装置の録音作業の補助、サポートを行っている。 ・印刷機および拡大機の利用について、利用方法のサポートしている。 ・屋外トイレのおむつ交換台が劣化し、新しいものに取替えて安全性を確保。 ・料理教室のオープンレンジが経年劣化し、3台を交換。 ・料理教室のシンク内の鶴首型蛇口が劣化があったため、修繕やこまめな調整を図った。 ・3階和室のカーテンに日焼けや裂けなどの劣化のため、更新。 ・毎朝、各室の点検を実施。机やテーブル、イスやガス器具などの状態の把握に努め、照明の劣化についてはすみやかな交換を実施。 ・茶室(茶室1)の畳が傷んでいたことから、畳替えを実施。 ・拡声器・プロジェクター・スクリーン・拡大機などの機器類の貸出については、使用に関して事前に細かな使用方法の説明及び事前の動作チェックの実施。 ・3階茶室の炉については、使用に注意を払い、必要時のみ電源を入れるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	
		⑤個人情報保護			・(公財)多治見市文化振興事業団「個人情報保護に関する方針」に基づき取り扱っている。 ・個々の受付票を作る等の方策を講じて対応。 ・個人情報を含む書類等を鍵のかかるキャビネットに保管し、廃棄する際にはシュレッダーで裁断、直接処分場に持ち込んで焼却処分を行っている。 ・個人情報の記載された書類は使用后速やかにシュレッダー後、廃棄。 ・裏紙を利用するなかで、個人情報が含まれていないか確認し使用。 ・個人情報を含む書類を必要以上に作成しない。置く場所にも注意を払っている。 ・パソコンの管理において、個人情報を含むデータへはパスワード設定。 ・個人に関わる問い合わせに対し慎重な対応。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。	

			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	<6件> ・停まっている車にぶつかる事故発生→当事者同士で解決してもらった。 ・金属のボールに車を当てられた事故発生。外灯に車を当てられた事故発生→対象物には変形等が見られなかったため対応なし。 ・運転操作誤りによる立木への追突→運転手の保険により、原状復帰。 ・公民館前広場でのボール使用による車のへこみ→公民館に対して、広場の使用のルールについてのお問い合わせがあり、検討した結果、今後広場ではボールの使用を禁止とし、小学校に周知の協力を得た。 ・高齢の女性が転倒→応急処置を実施。救急車の県立多治見病院へ搬送。転倒防止の処置を講じた。 ・いこまい祭りのおけ屋敷で、暗闇で物にぶつかり、足の小指を骨折→公民館の保険を適用。今後の安全管理について十分に注意をするようにした。	事故なし・対応に不備なし 0点	起きてしまった事故に対して、適切な対応ができています。その事故を受け、未然に防ぐ方策を考え、実践できている。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支		5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入126,686,627円÷支出124,760,649円=102% 笠原地区文化体育施設事業として全体収支としています。	105%未満~100% 4点	適正に経営されている。	4点
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	・和式トイレに手すりを設置する要望→1階・2階(ホールトイレ)、3階の各階の和式トイレの1部に手すりを設置。 ・水の止め忘れのあった1階女子トイレの手洗いの蛇口を自動水栓に交換。 ・料理教室の控室の床が傷んでいるため、使うのに躊躇してしま→清潔なタイルカーペット敷きに張替え。 ・公民館事務所側の入口が雨の日に滑る→ゴム製のマットをさらに追加。 ・地域のまつりの際に公民館前広場の溝が危ない→薄いベニヤ板を全ての溝に敷設。	期待以上 8点	要望に対し、迅速かつ適切かつ細やかに対応できている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	・駐車場が遠い、どこに停めて良いかわからない等→土日は朝から誘導のための看板を設置し、必要に応じて職員が誘導をした。 ・広場になぜ車を停めることができないのか。お客を歩かせるのか。→広場については溝があり、駐車用の区画を切っていないこと、歩行者も多く通行し、安全が確保できないため、車を停めることができない旨説明。 ・公民館前を経由した梅平行きバスがなくなりました。不便だ。公民館に来られない。→バスに関しては要望をしていく旨を伝えた。	苦情なし・適正(普通) 4点	・迅速かつ適切な対応ができています。 ・駐車場について、丁寧な周知説明等で細やかな配慮ができ、3施設の中心となって取り組んでいる。	4点
4		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・館内サインを見直し、「わからない」を解消。また、バラバラであった館内の色彩を外壁に合った色(オレンジ)に統一 ・ロビーのテーブルと椅子を色彩豊かな明るいものへと交換。 ・各種体験ブースの週末設置。地域で活動されている方の手作りの紹介。 ・周辺の飲食店のMAPを作成し、窓口で配布。 ・新しい広場を活用し、ラジオ体操などの事業に取り組み、「健康づくりの場」「憩いの場」というイメージを醸成している。 ・2階ロビースペースを改装し、運営開始。小さな子どもから大人まで楽しめる書籍を設置したところ、施設に中高生やお父さんも足を運ぶようになり、大変喜ばれている。今後はこのスペースの活用を発展させ、中高生を施設の運営に巻き込むように展開していく予定。 ・夏場の暑い時期、真冬の寒い時期に、ロビー活用事業と合わせて和室の開放事業を実施。 室内をフリースペースにすることから、安全性を考慮し、カメラを設置し、小さなお子様が遊んだときに保護者の方が気を遣うことの無いように、破れにくい障子への張替えを実施。 ・ダンスなどに取り組む方々から要望の高い大きな姿見を3基、新たに設置。 ・喫茶店が閉店されたあと、ロビーに臨時的喫茶コーナーを設けた。 ・"なかなかない"講座の実施により、笠原町まで来る価値を生み出すことに取り組んだ。 ・仕事をしている方々のための夜の講座を実施。 ・遠方からの方にも、笠原町の魅力を伝え、その中から"また笠原(多治見)へ来たい"、さらには"笠原(多治見)に住みたい"を生み出したいと考えている。 ・地域の事業に子どもたちを巻き込みながら、地域の方々といっしょになって展開するようになった。今後もその流れを大切に運営を図り、地域のことを愛し、考え、発信する次世代の育成に取り組めます。こうした取り組みを通じて地域の未来を創ります。	期待以上 14点	・館内サインの見直しにより、わかりやすく、明るい雰囲気になった。 ・モザイクタイルミュージアムのオープンに伴い、人の流れの変化にうまく反応し、地域にも外からの来訪にも気を配った対応をしていただけている。 ・デッドスペースの活用で、地域の方の憩いの場を創設することができた。 ・地域の子どもの活躍の場が考えられている。	14点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	適正に実施しています。	遅れ・不備なし 減点なし		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点

合計	100	<p>【4段階評価】</p> <p>極めて良好 100～85点</p> <p>良好 84～65点</p> <p>努力が必要 64～45点</p> <p>取消し等を検討 44点以下</p>		合計88点
				<p>全体的な評価</p> <p>【中央公民館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モザイクタイルミュージアムのオープンに伴い、先導して、あらゆることに対応していただき、満足している。 ・施設が明るく清潔で綺麗に整備されて、公民館のイメージアップにつながる事ができる。 ・地域の高齢者の活躍の場を提供し、生きがいづくりの一助となり、普段来ていただけない方にも大いにアプローチでき、結果を出す事ができたので大変良い。 ・長年続けている事業についても、見直しを行い、今にあったものでリニューアルする形で継続されているので良い。 ・他の公民館にはないものが、ここにはあるの取組みを行うことにより、来る機会を動機付けすることができ良い。 ・地域全体を盛り上げる気持ちで、職員全員の気持ちが一つになっていることがよくわかる。